

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡手づくり村拡充事業			事業コード	0560
担当課等	所属名 商工観光部 商工課 課長名 商工観光部商工課長 沼田 秀彦			担当係名	
		担当者名	熊谷 朋宏	電話番号	3713

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	施策	まちに活力を与える工業の振興	コード
			5			
	基本事業	中小企業の経営力の強化	コード	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 盛岡手づくり村振興事業 (003-01)	4
特記事項						
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	盛岡手づくり村の魅力向上を図り、手づくり村の振興、地場産業振興に資する為、新たな工房を導入する。					
根拠法令等	無し					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか) 拡充用地を活用した手づくり村拡充計画を推進してきた。 この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか 手づくり村は盛岡市における地場産業の拠点、観光拠点として一層の整備が求められており、拡充も一つの方向性と考えられる。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか 拡充用地を活用する方針から転換し、現手づくり村に新規工房を16年度に建設した。今後も、手づくり村の振興策の中で拡充事業について協議する必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡広域の製造を行なっている中小企業 盛岡手づくり村の来場者数 振興センター即売室の売上	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 来場者数	単位	人
				B. 即売室売上額	単位	千円
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 平成21年度は盛岡手づくり村振興事業[0547]の中で対応した。 (参考) 平成16年度 土地賃貸等新規工房建設支援業務 関係機関、建設工事関係業者との調整 基盤設備に係る市営工事の実施 役所内部の協議調整。 平成17年度 委員会、WG会議の開催。 手づくり村内及び役所内部の協議調整。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 手づくり村振興の中で拡充事業を協議する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 関係者の打合せ等	単位	回
				B. 委員会の開催	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡手づくり村の施設の充実を図り、減少傾向にある来場者数及び即売室の売上に歯止めをかけ、手づくり村の発展を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	C.	単位	
				A. 来場者数の前年度比較 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図、上位の基本事業にどのように貢献するか)	魅力ある商品やサービスを提供できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	B. 即売室売上額の前年度比較 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
				経営改善等研修会の参加者数(商工会議所、商工会など)(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	来場者数	人	506517	515974	535000	486115	535000	535000	年度
対象 指標B	即売室売上額	千円	179501	191903	197000	170844	197000	197000	年度
対象 指標C	盛岡広域の中小企業数(製造を行なっている企業。従業員4人以上)	社	495	497	497	450	450	450	年度
活動 指標A	関係者の打合せ等	回	0	0	0	0	0	0	年度
活動 指標B	委員会の開催	回	0	0	0	0	0	0	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	来場者数の前年度比較	%	94	102	104	95	110	100	年度
成果 指標B	即売室売上額の前年度比較	%	91	107	102	89	115	100	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0	0	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	延べ業務時間数	時間							*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
			理由: 手づくり村の活性化が地場産業の全体的な発展育成につながり、また地場産業を支援する情報関連等都市型産業への発展へと波及する。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他	理由: 手づくり村は市が主体となって開設したものであり、拡充計画についても市が主体となって行うべきものである。
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他	理由: 手づくり村の運営状況を把握するために妥当な対象である。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他	理由: 手づくり村を魅力ある施設として発展させることが地場産業の振興に役立つと考える。
効率性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		その内容: 拡充用地に地場産業の集積を図ることや、手づくり村の魅力向上を図る幅広い基盤整備ができるれば、成果の向上余地があると考えられる。	
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		その内容: 現状では拡充対応する状況に至っていないものの、地場産業の拠点、観光拠点として一層の整備が求められており、盛岡手づくり村振興事業[0547]の事業展開と絡めて今後の拡充について検討を継続する必要がある。	
公平性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？
		<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由:	
	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由: 盛岡手づくり村振興事業[0547]と併行して事務処理を行っていることから特段の削減とはならない。	
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由: 入居にあたって既入居者・新入居者・関係機関との間で条件を刷り合わせているため公平・公正と考えられる。	
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由: 入居にあたって既入居者・新入居者・関係機関との間で条件を刷り合わせているため適正と考えられる。	

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 当面は盛岡手づくり村振興事業[0547]と絡めて拡充事業の検討協議を継続する。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 事業費の確保

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点) 拡充用地は確保しているが、現下の状況では拡充実施の環境が整っていない。
	① 必要性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり	② 有効性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり	
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)		 
	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
	方向付けの理由と改革改善の内容 手づくり村の集客効果を高めるためには、今後も継続して関係機関と連携をとりながら事業実施を研究する必要がある。		